

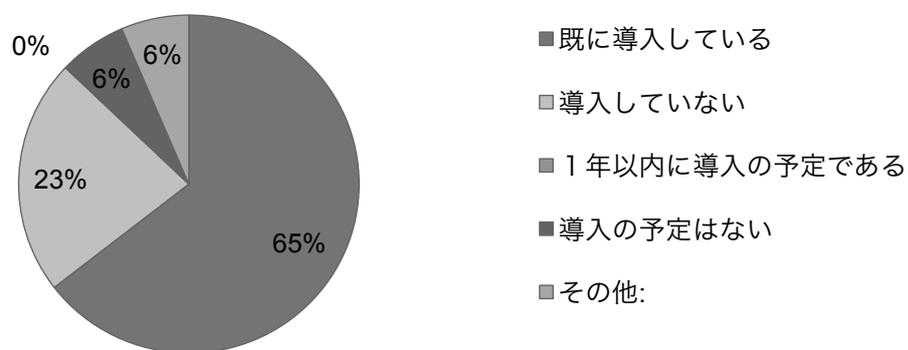
女性医療職支援に関するアンケート結果

実施期間 2017年6月～9月

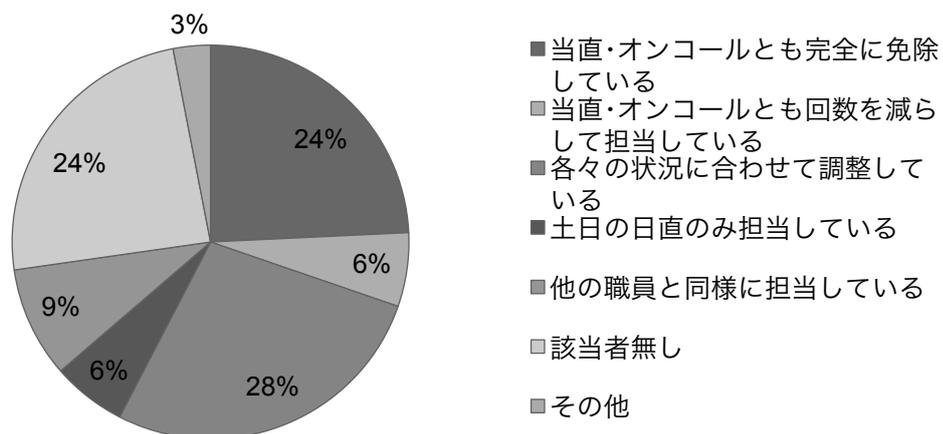
対象 鹿児島大学病院診療部門

回答 37部門中31部門から回答

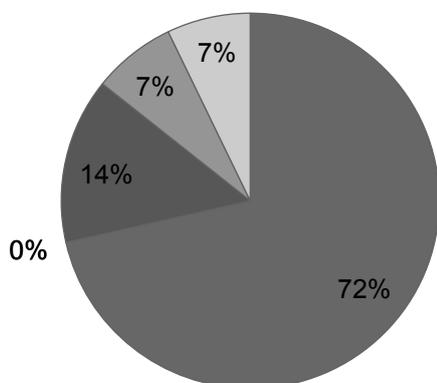
複数主治医制の導入



育児中職員の当直・オンコールは？

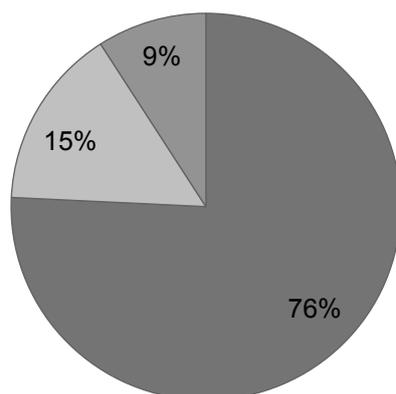


育児中職員の欠勤にはどう対処していますか



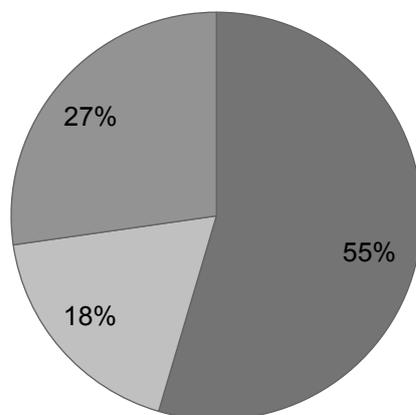
- 全て容認している
- 基本的に欠勤は認めない
- 代替職員が確保できる状況の時のみ容認する
- 当日の状況による
- 該当者無し
- 当事者の判断に委ねている

ママ職員・イクメンはいますか？



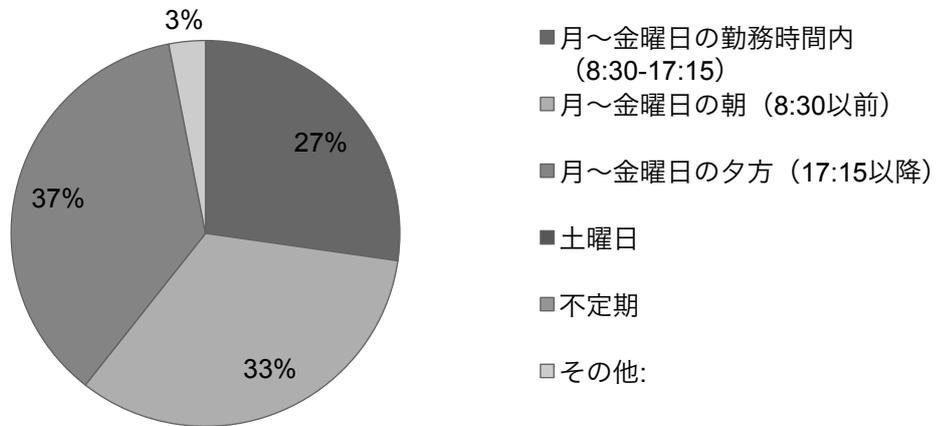
- いる
- いない
- わからない

職場にイクボス・イクメンはいますか？

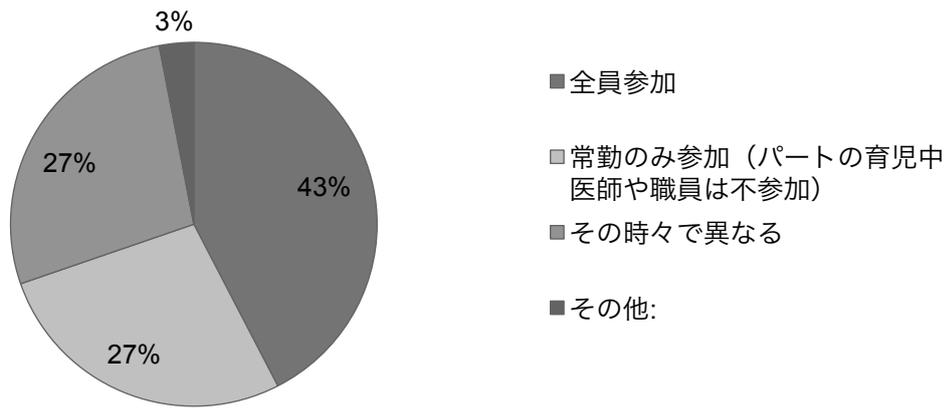


- いる
- いない
- わからない

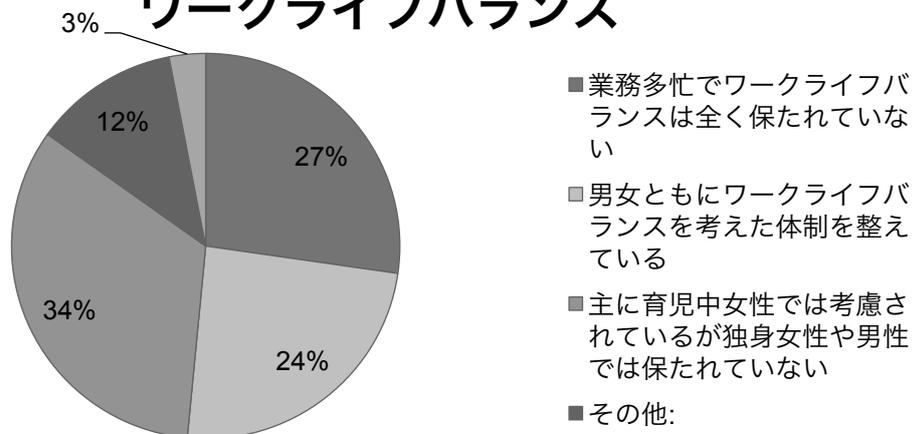
院内カンファレンスや医局会の設定時間



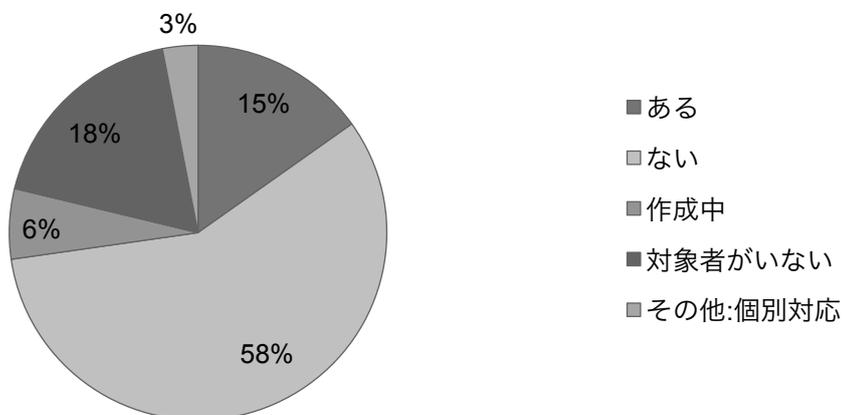
院内カンファレンスや医局会の参加状況



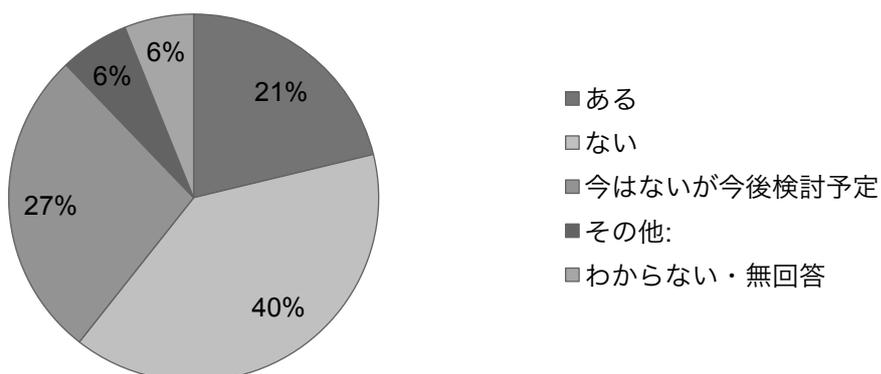
ワークライフバランス



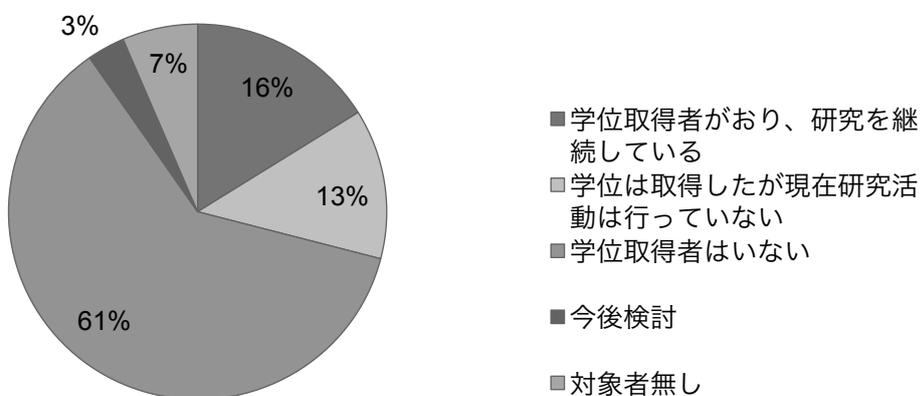
部局独自の復職支援プログラム



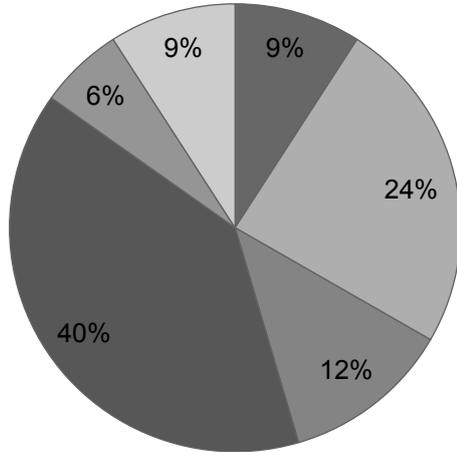
育児中医師が専門医取得する際のサポートは？



育児中医師の学位取得は？

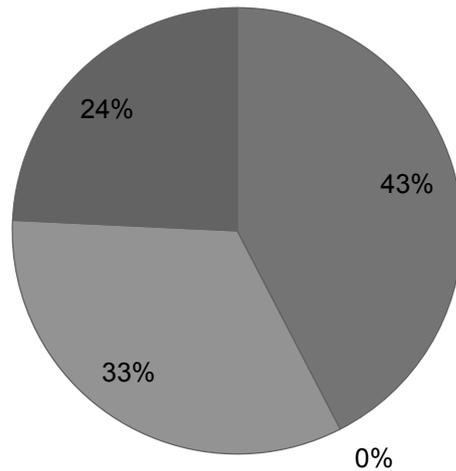


医員枠削減による育児休業からの復職への影響



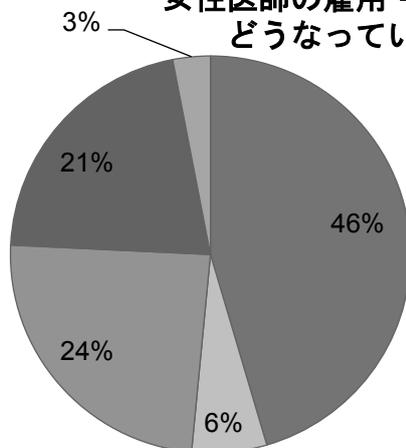
- 現在の定数内で特に調整の必要なく育休からの復職ができる
- 定数を超過するため、1名の復職に際し、他の医師の勤務日数調整が必要
- 育児休業者の大学病院への復帰は難しく、関連施設への出向を検討
- 対象者がいない
- 大学院生・研究生への転籍
- その他:

育児休業からの復職時に利用可能な定数外医員枠があれば？



- 利用したい
- 必要はない
- わからない
- 無回答

女性医師の雇用・スタッフへの登用はどうなっていくと考えますか



- 既に積極的に雇用・登用が行われており、今後も継続される
- 業務内容や講座の状況から積極的な女性医師の雇用・登用は難しい
- 今は少ないが今後雇用・登用が増加する方向にあると考えられる
- わからない